

研究課題名：患者尊厳尺度国際版 iPDS をもとにした短縮版尺度の開発 - イギリス調査に関する情報公開

1. 研究の対象

2018年1月～2018年3月に、ロンドン近郊の3～5の病院(調査協力の得られた病院)の精神科と小児科以外に入院している18才以上の自律して、アンケートに回答できる状態にある英語の読み書きができる患者の皆様(全部で約200名)

2. 研究目的・方法

先行研究で開発した信頼性、妥当性が確認されたiPDS(患者尊厳尺度国際版)をもとに、短縮版を作成し、その信頼性と妥当性の検証をロンドン郊外の3～5の病院に入院する(精神科、小児科を除く)患者約200名を対象としたアンケート調査によって行う。

質問紙は、iPDS(第1版)が28ないし30項目であるのに対して、短縮版は尊厳への期待と満足度に共通する15項目程度の調査票として準備する。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

尊厳への期待と満足度に共通する15項目程度の無記名式の調査票によって行う。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

研究責任者：

名古屋大学大学院医学系研究科基礎間がお学講座 教授 太田勝正